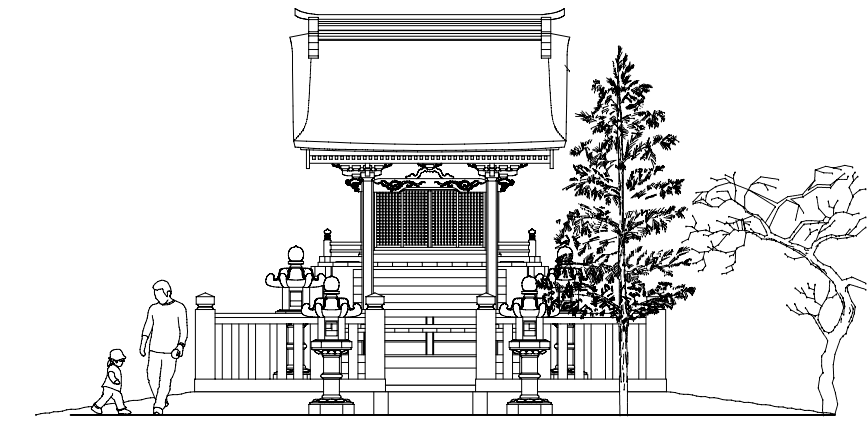


赤穂八幡宮金毘羅神社再建工事

設計・施工 株式会社 関 工務店



一間社流造り（いっけんしゃながれづくり）

建物正面が一間（柱が2本で1間）の社殿を「一間社」と呼びます。「流造り」は、切妻屋根の一方が、緩やかに反りながら流れる様に庇まで延びているのが特徴です。本殿の形式としては最も一般的な形式です。

社寺建築では、「枝割法」（しわりほう）と呼ばれる、屋根材の材寸を基本に各部材の寸法を一定の比率で定める割付法が用いられ、それ故に社殿の規模にかかわらず、建物の美しいプロポーションが維持されています。ただし、それはあくまで基本であり、屋根の反りが描く微妙な曲線など、さじ加減ひとつでその印象は大きく異なります。

